

第23号書式（第29条）

阪航工契 395 号

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 那覇空港18L側進入灯橋梁改修工事

開 札 年 月 日 令和4年4月20日 （落札決定日 令和4年6月15日 ）

入 札 執 行 官 署 大阪航空局

落 札 金 額 ￥ 245,300,000 -

落 札 者 株式会社郷建設

予 定 価 格 ￥ 276,056,000 -

積 算 額 ￥ 276,056,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 250,960,000 -

調 査 基 準 価 格 ￥ 247,167,068 - 調 査 基 準 価 格 の 100/110 ￥ 224,697,335 -

基 準 評 価 値 39.846

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評 価 点 (満点152点)	第1回入札			第2回入札			摘 要
		入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	
株式会社郷建設	117.5	223,000,000	52.690	○				落札
光南建設株式会社	-	辞退	-					

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
※本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和4年6月15日に落札者予定者を決定した。

項 目	内 容
1. その価格により入札した理由	長年の付き合いがある協力業者との調整により安価な金額にて契約ができるようになった。また、当該価格にて適切な品質管理及び安全管理も調整済み。
2. 契約対象工事附近における手持工事の状況	配置を予定している技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、6月以降に施工中の手持ち工事はないことから、技術者の配置に問題はないものと思料される。
3. 契約対象工事に関連する手持工事の状況	配置を予定している技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、6月以降に施工中の手持ち工事はないことから、技術者の配置に問題はないものと思料される。
4. 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との関連(地理的条件)	当該工事場所である那覇空港は調査対象者の近隣に位置するため、資機材運搬・管理面において経費の節減が可能で、緊急時の対応及び安全管理に優位性があることを確認できた。
5. 手持資材の状況	当該工事においては、該当なし
6. 資材購入先及び購入先と入札者との関係	当該工事で使用する資材については、大きいグレーチングを自ら加工して使用することとしているものの、当局積算金額との比較において特段低価格となっているものではない。その他資材についても低価格での調達が可能となっていない。
7. 手持機械数の状況	当該工事については手持ちの建設機械を使用することとしており、所属等について提出書類等により確認できた
8. 労務者の具体的供給見通し	協力業者との調整により、当該工事に要する労務者の確保は出来ている旨、調査対象者へのヒアリングにおいて確認できた。
9. 過去に施工した公共工事名及び発注者	平成29年度 松川高架橋補修工事(那覇市)
10. 経営内容	財務諸表の数値から見て履行がなされないという状況は見られない。
11. 1から10までの事情聴取した結果についての調査検討	本件において、配置予定技術者及び過去の公共工事の施工状況から施工面について問題があるとはいえないことなどから、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。
12. 9の公共工事の成績の状況	過去に施工した公共工事を確認したところ、平成29年度～令和3年度において、橋梁の工事として、地方公共団体1件の計1件の施工実績があり工事成績評定は75.1点で、概ね適切な施工が行われているものと思料される。また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が無いことを確認した。
13. 経営状況	非公表
14. 信用状態	①建設業法違反の有無 なし ②賃金不払いの状況 なし ③下請け代金の支払遅延状況 なし ④その他
15. その他必要な事項	